

令和4年度まちかどミーティング会議録

開催日 令和4年10月13日（木）

地 区 しらかば地区

会 場 しらかば総合福祉会館

〈意見交換〉

◆市民 しらかば西町内会の■■■■です。

今プレゼンテーションで、津波のことでお話ありました。取組として、ソフト面については、かなり進んだ形でいってると思うんです。ただ、ハード面ですか、先ほど垂直避難の説明の中で、津波1メートル来ると、ほとんどの住宅が破壊すると、これ、東北の実際の地震の痕を見てきて、これは痛切に感じています。そこで垂直避難というのはすごく難しいし、避難の途中でのみ込まれる人もいるということで、これについてのハード面、避難場所を設定するだけでなく、市のほうで、例えばその糸井公園の縁に高さ5メートルか何ぼの高台みたいのをちょっと造って、そうすると、運動してても、熱中症、日陰できて助かるとか、いろんなことあると思うんですよ。そういう取組とかなんかについての考え方があるのかどうか、ちょっとお聞きしたいなと思います。

○司会 津波対策のハード面の対策について、考え方ということです。回答をお願いします。

◎危機管理室長 ご質問ありがとうございます。危機管理室の前田のほうからお答えをさせていただきます。今のテーマプレゼンテーションの中でもお話ししあげたとおり、まずはソフト対策を進めていきたいということでやっております。この中で、今のハザードマップを作っていく中で、津波が来るまでに避難ができるかできないかということを見定めようということで会議を進めております。そこに対するアプローチは、今何パターンか、段階を踏んで対応していきたいというふうに思っております。その一つは、ソフト対策の一環でありますけれども、既存の施設を津波避難ビルとして、今までよりも、そういう逃げ込む先、そういったものを増やしていこうというものが最初の対応になります。

その次には、ちょっと今具体的にここということところはまだないんですけども、今ある公共施設をこれから新築するですとか、増改築するですとか、そういうときに、津波から逃げるための機能を付加できないかということ、こういったことということも考えていきたいと思っております。

こういったことをやってもなお、先ほど見ていただいた赤い線が残ってしまう、こういった地域については、ハード整備ということで、それは避難所という、道路の整備のところもありましょうし、あるいは、今■■■■お話しになったような避難のための施設、こういったものについても考えていきたいというふうには思っておりますが、ただ、いずれにしても、今回のこの想定がこの数百年から1,000年というような想定されておりますので、そこは一定程度、若干時間かかるかもしれませんが、一個一個潰していきながら、何とか皆さんが避難できるような体制を

つくっていききたいということで、そういう段階を踏んだ対応をしていくというふうには考えているところであります。以上となります。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 地震発生が、数百年から1,000年と言っていましたけれど、たしか東北の大地震、あれ、可能性として数%の可能性でしたね。誰もそこに目向けなかったところであれだけ大きな地震があって、原発事故までいっちゃったような形なんです。だから、数百年とか1,000年単位というんじゃなくて、実際にそういう地震が発生する可能性があるのであれば、年数にこだわらず、必ずしも今後求められるのではないのかなと思います。

○司会 ご意見として承っておきたいと思います。そのほか何かございますでしょうか。どなたかいらっしゃいますか。はい。

◆市民 直接町内会に関わることではないんですけども、公共施設に関わることの見解になるんですけど。

○司会 はい、お話、一度していただきたいと思います。

◆市民 よろしいでしょうか。

○司会 はい。

◆市民 私、しらかば西町内会のしらかば町3丁目に住んでる■■■■といます。何というんですか、意見なんですけど、市民会館、新しく建てることになってますけども、市民の文化の殿堂として、今の市民会館ができてから大体50年が過ぎてということでございます。新市民会館建設に伴って、現在の市民会館は解体されるということでありまして。それで、解体されるということで、市民会館の外壁を見ていて、コンクリートの打ちっ放しの外壁が全体にわたって、六角形のマークが刻まれております。この六角形のマークは、何かあるんだろうなということで、聞くところによると、この形は雪の結晶の六角形のモチーフになってるらしいということなんです。これは冬の苫小牧にふさわしい、シンボリックなマークではないかと思っております。ただ解体されて、もう無になってしまうんじゃなくて、せっかくこの雪の結晶の、苫小牧にふさわしい冬の景色も含めて、このシンボリックな形を、2代目となる市民会館の外壁に、文化の形として歴史が引き継がれていったら喜ばしいなと思って、意見を述べるものです。

私自身も苫小牧で生まれ育って、スポーツといたら、小さい頃からアイスホッケーが大好きで、アイスホッケーをよくやりました。そんなことから、せっかく文化の殿堂の、大ホールのある市民会館に堂々とかいようなシンボリック的なマークがあるわけですから、これを何とか2代目の市民会館に、全部とは言わないですけどね。市民会館の四方全体にわたってあるんですが、正面の部分とかね、そういう部分だけでもこのマークが、歴史が引き継がれていったら喜ばしいなと思って意見を述べたものであります。

○司会 今の市民会館の外壁の六角形の形、引き継げないかというようなご意見がありましたが、回答をお願いいたします。

◎市民生活部長 今建設中の市民文化ホールを所管して市民生活部の、しらかば3丁目の野見山と

申しますんで、よろしくお願いをいたします。今貴重なご意見ありがとうございました。今新しく市民文化ホール、令和8年の3月にオープンを目指すというところで、現在、基本設計の業務を進めています。今回のこの市民文化ホールの建物につきましては、新たな手法として、民間の事業者さんに設計、施工、それから運営も行ってもらおうという、新たな手法で今、進めていくことにしております。今回、市民文化ホールを建設するに当たって、この建物の部分のコンセプトとして、やはり苦小牧の、今■■さんからもお話ありましたように、氷都をどうイメージを形として表すかという観点のご提案をいただいております。今回の建物の、今設計段階ではありますが、氷のブロックが、いろんな形の氷が積み重なって建物を形成するようなイメージをご提案をいただいていたところでもあります。その氷が、皆さん、利用する方の情熱、パッションでその氷が解け出して、それがつながって新たな文化をつくり出すというようなイメージを持って、ご提案をいただいておりますので、初代の、今ある市民会館は、今■■さんのお話だと、雪というようなことでありましたが、今回は氷というようなものを一つのテーマとしてつくり上げていく、形にしてということになりますので、あのような形で引き継がれていくということに一定はなるとは思います。いただいた、氷の六角形のイメージの部分については、ご意見としてお承りたいというふうに思っておりますんで、よろしくお願いをいたします。以上です。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 ありがとうございます。もう一つ、ちょっと付け加えさせていただければ、私、この雪、あくまでも雪なんですけど、雪の、踏み固まって、そして圧縮されれば、ご承知のとおり水になって、氷になるわけです、最後はね。だから、雪と氷というのは全く違うもんじゃなくて、同じものだという概念が私はあるんです。一番最後、ちょっと水ですね、水から雪になったり氷になったりするから、雪と氷は違うという発想にはならないんじゃないかなという、同じもんだって、私は、そういうことで、この外壁がそうだという意味、ことを言いたかったわけでございます。

○司会 ご意見として承っておきます。そのほか何かございますでしょうか。はい、今マイクお持ちします。

◆市民 桜坂町町内会の■■と申します。先日、危機管理室の前田室長はじめ6名の方が桜坂町の町内会に来ていただきまして、津波に関するいろいろな意見交換いたしました。

それで、ここにも書いてるとおりなんですけども、これからまた協議していくということなんで、今あえて触れませんが、もう一つ要望をお願いします。というのは、今年、草刈り、ヒューム管通りをはじめ、私たちの町内会もかなりの雑草が生い茂って、もう美観的にも大変な状況です。それで、毎年、町内会の役員が、日中いる70前後の役員ばかりなんですけども、それぞれみんなで声かけて、草刈りするかということでしたんですけども、今年なんか特に、市のほうで草刈りのする時期というのがすごく遅くて、例年2回するところを1回しかしてないだとか、今までしてたところが今年は1回もしてくれなかったとかというところがあるんですよ。

私たちが町内の方々から要望を受けまして、私たちがやっていますけども、年寄りですし、肉体的にも大変なんで、私たちの手のかからないように、きっと最初、年度初めに業者の方と契約結

んだときに、年間スケジュールというのできてるはずなんです。それで、そのスケジュールが分かりましたら、町内会のほうに知らせていただきたいと思います。そうすれば、私たちがやった後に市のほうで手かけるということにならないように、そうすれば、私たちの手も煩わないということなんで、そういう方向でちょっと検討していただきたいなと思って、今回ちょっと意見を言わせていただきました。

○司会 草刈りは、どちらの部分の草刈りということになりますか。道路、公園。

◆市民 そうです、桜坂の町内会の入り口あるんですよね。あそこに植栽があるんですけども、その部分と。それと、ずっと桜坂のメイン道路を上まで通ってる道路があるんですけども、そこと。それと、外周のガードレールあるんですけども、ガードレールと、東側は石垣沿いなんですけども、そこを毎年1回はしてもらってるんですけども、その外周のほうは今年は1回もなかった。

そして、メイン道路の草刈りも1回、いつも6月と8月ぐらいに2回ぐらいしていただいているんですけども、今回は8月の末に1回やっていただいたのかな。前田室長さんたちが来たときに、ちょっとこの話もして、その後、そうしたら、業者のほうに言いますということで、すぐやってはいただいたんですけども、そういうような状況なんで、なるべく町内会のほうの手を煩わせないでやっていただけたら、私たちも大変助かるなと思って、そういうことでお願いしています。

○司会 草刈り、町内会の草刈りということですが、担当のほうから回答をお願いいたします。

◎緑地公園課長補佐 私、緑地公園課の神野と申します。ただいまの道路の草刈りの関係ですね、この前いただきました。私ども緑地公園課のほうで、道路の植樹帯の草刈りだとか、あと緑地帯、ちょっと桜坂に入手前、入り口のところの一部緑地帯がというお話ありましたが、その部分の草刈りも私どもが所管しております、今年については例年に比べて草刈り入る時期が非常に遅かったということでちょっとお叱り受けましたけども、基本的には、道路の植樹帯の草刈りというのは、年に2回入ることとしております。ただ、ちょっと今年については、一部遅れてしまって、ご迷惑をおかけした地域の方ありましたので、今後におきましては、その担当した業者ともお話をさせていただきますし、あと、桜坂町内会様のところだけではなく、市内、結構広いもんですから、なかなか適正な時期に草刈りに入れてないという地域も恐らくあるんじゃないかなと思います。そういうときは、ちょっとお電話いただいて、ちょっと草、これひどいと、そういったお電話いただいたときは、工程組み替えて、施行する順番を組み替えたりだとか、そういったことで対応はさせていただきます。

先ほど、草刈りのスケジュールの話ございましたので、今後、この場所についてはいつ頃入る予定だということを町内会様のほうにもちょっとお伝えできると思いますので、それちょっと検討させていただきたいと思いますし。あと、適正な時期に草刈り入れるように、今の、私どもも業者ともちょっと相談しながら、ちょっと対応を検討させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○司会 よろしいでしょうか。それでは、そのほかに質問ある方いらっしゃいますか。はい。

◆市民 しらかば中央町内会の■■■■と申します。冬の間、各主要な交差点の横断歩道に滑り止めを置い

いただいているんですが、実は、ここの南側の、しらかばの郷としらかば公園の間に横断歩道があります。ちょうど公園のこの、南側に来た道路ですね。結構人の往来があるもんですから、昨年交差点にああいう砂を持ってきて、結構まいてたんですね。できれば、あそこの横断歩道のところに設置をお願いをしたいと思います。ぜひ検討をしていただきたいと思います。

○司会 横断歩道の滑り止めの砂の設置についてということですが、お願いします。

◎都市建設部維持課長 市役所維持課の小田と申します。いつも冬場の除雪関係につきましては、ご協力いただきましてありがとうございます。ただいまご要望ありました歩道の砂箱の件なんですけれども、毎年、市内、大体60か所から70か所ぐらい設置しておりまして、その都度必要なところに組み替えたりとかもしてますので、今ご要望ありました、そちらにつきましても、今年の冬から設置する方向でちょっと検討したいと思いますので、よろしく願いいたします。

○司会 よろしいでしょうか。そのほか質問のある方いらっしゃいますか。はい。

◆市民 桜坂の■■■と申します。10月6日、熊が宮の森の下で出没したのかな、看板が立ってたけど。ちょっとここ、どなたかこの情報を知っておられる方おられますか。

○司会 熊の出没情報、分かりましたら。

◆市民 看板が立ててあるから、10月6日。これは間違いないね。

◎環境生活課長 はい、では、その点について回答させていただきます。

◆市民 ちょっと待って。それで、お願いなんですけど。

◎環境生活課長 はい。

◆市民 要は、隣町が桜坂なんです。最近は確かにあまり聞かなかつたけど、2年ほど前、何回か熊の出没目撃情報がありまして、猟友会の方も見に来ておられました。私らも、道が皆さんもご存じのとおり一本だったもので、あそこを通る人にちょっと声かけを当時はした記憶があります。

今回は10月6日、宮の森さんで熊が出没目撃情報があつて、何で隣町のうちのほうに連絡がないのかなとちょっと不思議に思いました。熊も生き物ですんで、同じところにじっとするわけがありませんので、ぜひ今後、近隣でそういった情報があつたら、こちらのほうに、熊が目撃されましたという、だから注意してくださいという、そういった情報をお願いしたいなということです。

◎環境生活課長 ただいま、熊の関係でちょっとご質問、ご要望ございました。環境衛生部環境生活課の武田と申します。10月6日の熊の情報につきましては、苫小牧警察署からご連絡をいただきました。その際に内容として、非常に精度の低い情報だということがございまして、少し概要を申し上げますと、当時、当日の18時頃、大分お酒を飲まれて酩酊された方からの通報ということで警察受けまして、事情聴取を行ったところ、証言が二転三転するという状況で、我々も翌朝、猟友会の支部長と一緒に現場確認行つたんですが、当日の目撃情報が、2メートルの熊が横切つたという情報だったんですが、痕跡、あるいは、その他目撃情報もない中で、恐らく誤報ではないかという判断をしたのですが、ただ、念のためということでの看板施工まではさせていただきました。ただ、情報としての精度が低い中で、お知らせをすることでかえって混乱を招いてはい

けないということで、今回については看板の設置のみにとどめたケースでございます。

ただ、前回の2年前のケースのように、ある程度目撃が複数あるとか、痕跡の可能性があると、精度の高い情報については、周辺の町内会様、住民の皆様、あるいは小・中学校にお知らせをするという対応を取っているところがございますので、情報の精度に応じた対応ということでご理解をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

◆市民 今後も、精度が高ければ、連絡いただけるんですね。

◎環境生活課長 はい、もちろん、精度の高い情報、痕跡等、確認できれば、ご連絡させていただきます。

○司会 そのほかに質問ある方いらっしゃいますか。よろしいですか。質問ある方いらっしゃいませんか。

◆市民 すみません、2点目だけどいいですか。

○司会 今2点目の方、手挙げられましたけど、ほかに質問される方なければ、と思いますが、よろしいですか。それでは、はい、お願いいたします。

◆市民 しらかば西町内会の■■■■です。道路に関してのちょっと質問になるんですが、現状でいけば、糸井環状線の南側、この道路が今、うち、町内会関わってくるんでお話ししますが、バス利用者は高齢者が多くて、特に病院通いする方が乗ってるんですね。道路が結構揺れたり斜めになったりしてて、振動が出てくる。調子が悪いのに、病院行くのにそういう状態で、逆に具合悪くなるわという話が私のところの耳にも入ってきています。これはうちの町内会だけに限らず、古い道路はほとんどそうだと思う。今のバスの利用者というのは、ほとんど高齢者だと思うので、高齢者に優しい町という形でもって、少し、道路をきれいにするというのも、お金、予算の問題あるんですけど、費用のかからない範囲で何とか改善することできないのかなと思って、ちょっと意見、聞きたいなと思います。

○司会 道路状況の改善についてということで、市の考え方、お願いいたします。

◎都市建設部維持課長 維持課の小田と申します。よろしくお願いいたします。まずは、苫小牧市内で市の管理してる道路の現状なんですけれども、約1,000キロございまして、直線距離にいたしますと、苫小牧市からずっと真っすぐ、もう静岡県ぐらいまでいくような状況です。やはり幹線道路、バスが走るようなところにつきましては、そういう専門の車使いまして調査しているので、悪いところを順次直してる最中ではございますけども、今■■■■からお話ありました糸井環状の南につきましては、まだそこまでに至ってないというような状況でございますので、今月、もともと年に一度ですけど、バスを使いまして、市内のバス停の状況ですとかの調査を年に1回やってます。そこにつきましても、今回ちょっとやってみたいなと思ってますんで、またその調査の状況が分かりましたら■■■■にお伝えしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

◆市民 分かりました。

○司会 そのほかご質問ある方いらっしゃいますか。はい。

◆市民 桜坂町の■■■■です。また維持課の小田さんに関わることで申し訳ないんですけども、桜坂の町

内会の道路際、ガードレール側だとか、坂に面してる木々が結構老木になって、倒れかかっている樹木が結構あるんですね。それと、枝が伸び過ぎて、道路にかなりはみ出してるということあって、町内会の方から、これ、切ってもいいですかと言われて、いや、出てるんだから、これ、きっと維持課のほうで大丈夫だと言うから切ってもいいよと言って、切らせたり、私たちが切ったりしてるんですけども、そこら辺ちょっと維持課のほうでもよく見て、危ないなと思ったらちょっと、伐採するなり、枝を切るなりということも検討していただきたく思います。よろしくお願ひします。

○司会 道路脇の木の管理ということで、回答をお願いいたします。

◎都市建設部維持課長 維持課の小田でございます。よろしくお願ひします。まず、木なんですけど、街路樹で、私ども市で管理してる木と、あと外周です。例えば、地権者さんが市でなくて、個人の土地に生えてる木という可能性もございますので、まずは道路の支障、通行することに支障が及ぶ部分につきましては、そういったところをまずお調べして、そういった方のまずご了解いただけましたらそういった対応もできますし、場合によっては本来であれば所有される方にやっていただくことにはなるんですけども、緊急避難的に、車の通行に支障があるということでしたら私のほうでも対応できますので、まずはちょっと現地確認させていただきたいということです。よろしくお願ひします。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 はい。

○司会 そのほか質問ある方いらっしゃいますか。もしなければ、終了となりますが、よろしいでしょうか。それでは、以上をもちまして終了したいと思います。最後に、本日のまちかどミーティングの終了に当たりまして、岩倉市長よりご挨拶を申し上げます。

◎市長 多々いろいろ、ご指摘、ご質問等をいただきましてありがとうございます。今日いただいたご指摘で、すぐできることはすぐやりますし、時間がかかることもあります。ハード対策についても、昨日も勇払地区でも同様な話がありました。我々、やっていくときに、国の補助メニューがどういう補助メニューがあるのかというのをしっかり確認しないと、市費だけでやるということは、結構あれ、大分かかるんです。避難タワーにしる、何にしる、例えば、土を盛るだけでも相当な費用がかかります。今、苫小牧も、ご案内のとおり人口が減少時代に突入して、特に生産年齢人口が減っています。生産年齢人口が減るということは、税収が減ることにつながってまいります。したがって、我々の財政オペレーションも、右肩上がりのときとは違って、かなり中期的なシミュレーションをしながらやっていかなければならない。しかし、11年前、東日本大震災があったときに、そういう悠長なことを言ったらとまちかどミーティングで、あした来るかもしれないぞというご指摘が、確かにそのとおりなんです。だとした場合には、今つけてる予算のどこを削って、そして、ハード対策に回すのかという政策判断ということになります。それは私の責任であります。そういう時代、あるいは財政の見方ということをぜひご理解をいただきながら、これから市が取り組もうとしていることを見守っていただき、我々、問題意識として

は持っています。市民の命をどうやって守るかということは、我々行政にとって、最大、一番優先しなければならない問題でありますから、そのことはしっかり踏まえた上で取り組んでいきたいなことなので、ご理解をいただきたいです。

もう一点、樹木の話、僕ら小さいとき、苫小牧は地形がフラットで、灰色の町と言われていました。要するに緑がない。それが、我々先輩世代の努力のおかげで、人口10万以上の町で街路樹比率がトップです。それだけ一生懸命、市費を使って、あるいは様々な補助メニューを使って、緑が多くなってきた。しかし、今は、伸び過ぎてから切れと言われてるんですね。それはなかなか見通しが悪いと、車の運転にも危ないと言ってる。

僕も樽前山神社の下にいますけど、街路樹があって、生活道路から出ていくときに、伸びていくと、本当に見づらくて危ないんですね。非常に、車を運転したら危険なんですけど。早く、大体神社のお祭りの前ぐらいになると切るんですけど、今年はちょっと遅かったようですね。よっぽど、市役所に電話してやろうかなと思ったんですけど。そのうちきれいにしてくれましたけれども、やっぱりそういう、業者さんも今人手不足とか、いろんなことが重なって、ご迷惑をおかけする部分があるかと思いますが、市のほうではしっかり計画を立てて、予算をつけて、優先順位高いところ、危ないところからやっぱりやっていく、1,000キロ以上ある市道ですので、同時にやることはできないので、そういう事情もぜひご理解をいただきたいと思いますが、本当に住民の皆さんの安心・安全が第一義ですので、今日ご指摘いただいた、後でよく場所を聞いて、実際に確認をして、すぐやるべきなのか、あるいはもうちょっと待っていただくかという判断をしながらやっていきたいなというふうに思います。最後になりますが、コロナも少しずつ落ち着いてきたとはいえ、昨日、今日と北海道、ばんと数字が多くなったんですね。もうしばらくの間やはり、一人一人が感染対策に注意していただかなきゃいけないし、学級閉鎖も、いつきよりは数は減っていますが、いまだにぽつぽつと学級閉鎖が出ている現状でありますので、ぜひ、もうしばらく気をつけていただきたいなというふうに思います。本当、最後のお願いです。今日ちょっと、佐藤副市長、1回も発言してないので、最後の最後にお礼のご挨拶をいただいて。

◎副市長 お帰りの際は、外も大分寒くなり、それから日暮れも早くなりまして、もう帰る頃には真っ暗になってますので、ぜひ、そこは注意しながらお帰りになっていただきたいなと思ってます。

じゃあ、今日のたくさんのご意見というものは、ふだん私どもがやってる市の事業に対するご指摘を受けたと思っております。先ほど市長からも皆様にお伝えしましたが、すぐできることはすぐやるようにということは、ここ数年心がけておりますので、ただ、場所の確認とかは、この時間が終わってからも担当のほう、それぞれ駆けつけて、場所の確認をさせていただきますので。ぜひそこは、また忌憚のないことをしっかりとお伝えいただいて、できるだけ私たちも希望に添うように努力してまいりますので、そこはお約束させていただきながら、ご挨拶に代えさせていただきます。今日はありがとうございました。

○司会 それでは、以上をもちましてまちかどミーティングを終了いたします。ご帰宅後には、うがい、手洗いをしっかりとさせていただきようお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。